

SDGs スタートアップ研究分科会

アドバンスコース第1回情報交換会（キックオフ）実施報告

2022年8月8日

PMI 日本支部

SDGs スタートアップ研究分科会

アドバンスコース・リーダー 歳弘 浩三

去る7月23日(土曜)、SDGs スタートアップ研究分科会のアドバンスコース第1回情報交換会(キックオフ)を開催しましたのでご報告いたします。

アジェンダは次の通りです。

1. 2022年度SDGs スタートアップ研究分科会の概要
2. アドバンスコースの運営について
3. アドバンスコース参加団体の情報交換
 - a. 舞鶴工業高等専門学校（舞鶴地域における小規模河川の防災対策プログラム）
 - b. 株式会社カルティブ（企業版ふるさと納税を利用した地域課題プラットフォーム）
 - c. 有限会社ウイルパワー(循環ビジネスの社会的役割の実施)
 - d. 高野山真言宗[大師協会] 和歌山教区<三密教会>(生活の継続が保証される町づくり)
 - e. 株式会社インフォテック・サーブ（iCD活用でSDGsを達成）
 - f. ブルージュオブズ株式会社（SDGs×広報応援プロジェクト）
4. フリーディスカッション

各項目の概要をお伝えします。

1. 2022年度SDGs スタートアップ研究分科会の概要

・SDGs スタートアップ研究分科会

PMI 日本支部は、SDGs 達成プロジェクトを効果的に軌道に乗せ推進する方法の開発・普及を図るために、2019年10月から内閣府「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」に「SDGs スタートアップ研究分科会」を設けています。

本年度は、昨年度に引き続き SDGs プロジェクトのマネジメント手法を学ぶ「ベーシックコース」と、実際に事業として行っている SDGs プロジェクトを支援する「アドバンスコース」の二本立てで実施いたします。

「ベーシックコース」については本年も10月開始として、すでに参加団体の募集を開始しています。

詳細は次のウェブサイトをご覧ください。

[2022年度「SDGs スタートアップ研究分科会-ベーシックコース」参加団体募集のご案内](#)

アドバンスコースの開催

本年度のアドバンスコースは、原則として2019年度、2020年度、2021年度のベーシックコースに参加された団体で実際に実行されているSDGプロジェクトを対象としています。すでにSDGs事業を開始していて、基本的なプロジェクトマネジメントの知識をお持ちの場合は、途中参加もご相談に応じます。

図1にアドバンスコースの位置づけ、スケジュールを示します。

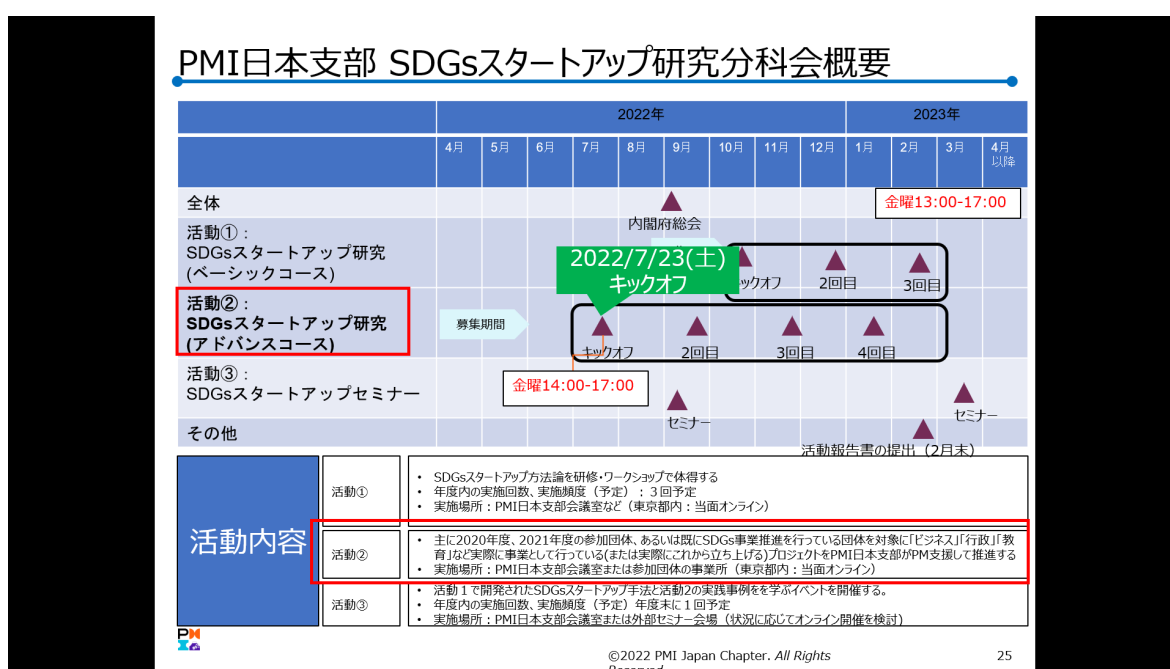


図1 アドバンスコースのスケジュール、活動内容

2.アドバンスコースの運営について

アドバンスコースは、「参加団体のSDGs事業プロジェクトが順調に進められていること。」とともに、「SDGs スタートアップ手法を活用し、ゴールの設定、見直し、推進上の課題、リスクなどに対してPM手法を活用し支援する。」を目的としています。

スケジュール

参加団体ごとに本年4月から準備段階の活動を開始しており、アドバンスコースへの参加団体との情報交換会を今回のキックオフを含め年4回行います。

SDGs事業プロジェクトのテーマ、目標や方針は各団体で異なりますので、情報交換会では

各団体の活動テーマ、活動内容を可能な範囲で共有し、団体間でのコミュニケーションを活性化し相互連携や共通課題の検討などを行える場を提供していきます。

プログラムマネジメント

各団体の SDGs 事業は単一のプロジェクトではなく、複数のプロジェクトが連携することが多いので、プログラムマネジメントの手法を進めます。

依存関係のあるプロジェクト間のコミュニケーションや情報連携、リスクマネジメントなどの支援を行います。

3 アドバンスコース参加団体の情報交換

アドバンスコース情報交換会は現在アドバンスコースに参加されている6団体の活動状況の概要の共有と共通の課題や検討事項に対して情報を交換し、参加団体およびPMI日本支部アドバンスコース支援メンバーで検討することを目的としています。

昨年度までの参加団体、舞鶴工業高等専門学校、株式会社カルティブ、有限会社ウイルパワー、高野山真言宗[大師協会] 和歌山教区<三密教会>の4団体と、今年度から参加されました、インフォテック・サーブ株式会社、ブルジョブズ株式会社の2団体を加え、6団体に SDGs 取組み事例を紹介していただきました。

a. 舞鶴工業高等専門学校（舞鶴地域における小規模河川の防災対策プログラム）

（報告：舞鶴工業高等専門学校 校長 内海康雄氏）

・舞鶴市では、近年小規模河川の氾濫により道路の冠水、住宅の浸水被害が多発しています。その対応策として、降水量と河川水位の関係を解明して数時間後の水位予測・浸水危険度情報を配信するシステムの構築に取り組んでいます。

・これまでの取り組みで、SDGs スタートアップ手法を活用し、リーンキャンバスは役に立つ。ソフトウェアに限らず、様々な事業の構想をまとめられる。実現計画を策定するためにロジックモデルが有効。優先課題を決定し、ビジョンからバックキャストिंगで中間成果に展開する。事業活動のアウトプットと関連付けて、実現のシナリオを確認する。などSDGs スタートアップ手法の有効性が評価されています。

・北近畿地域での舞鶴高専の活動と半導体人材の育成

北近畿地域における舞鶴高専の取組みでPMI日本支部の支援を頂いています。

小規模河川の水位監視システムでは、SDGs と合わせたスタートアップを展開し、新たな活動として 海の安全確保と IT 漁業では、北近畿の地域プラットフォームの構築と、新たな取組みとしてエッジコンピューティングを実現する半導体人材の育成を検討中です。

また、SDGs と結びつけた地域振興の仕組みとして、北近畿の地域プラットフォームによる課題発見と解決に向けた検討を行っています。

参考：

PMI 日本支部プロジェクトマネジメント研究報告
舞鶴市における小規模河川の洪水予測システム構築
-SDGs スタートアップ方法論適用モデル①-

[舞鶴市における小規模河川の洪水予測システム構築 \(jst.go.jp\)](https://www.jst.go.jp/)

b. 株式会社カルティブ(企業版ふるさと納税を利用した地域課題プラットフォーム[river])

(報告：株式会社カルティブ 企業版ふるさと納税コンサルタント 小坪拓也氏)
[river (リバー)]という地域課題プラットフォームで、「企業版ふるさと納税の活用を目指す自治体と企業が、制度を活用するためのサービス」を提供しています。「企業と地方を繋ぎ、双方の課題解決への支援をすること」をミッションとし「レジリエントで持続可能な社会ができていること」をビジョンとしています。2020年4月に大幅に改正された「企業版ふるさと納税」制度の解説や申請手続きの手引きを、400本を超えるYouTube動画と毎週のセミナーで啓蒙しています。

これまでの実績として

- ・動画視聴数： 30,921回
- ・地域再生計画の作成支援数： 50以上
- ・契約自治体数： 72自治体
- ・river認定講師数(候補含む)：28名
- ・会員登録企業数： 70社以上
- ・提供サービス数： 48件
- ・登壇セミナー数： 204回
- ・延べ参加者数累計： 5,484名

2022年度はさらに多くの自治体と企業のマッチングサービスを展開できるように推進していきます。

参考：

PMI 日本支部プロジェクトマネジメント研究報告
企業版ふるさと納税を活用した地域課題解決プラットフォームの構築
-SDGs スタートアップ方法論適用モデル②-

[企業版ふるさと納税を活用した地域課題解決プラットフォームの構築 \(jst.go.jp\)](https://www.jst.go.jp/)

c. 有限会社ウイルパワー(循環ビジネスの社会的役割の実施)

(報告：有限会社ウイルパワー 代表取締役 江川 健次郎氏)

- ・プロジェクトテーマは、循環ビジネスの社会的役割の実施で、
- ・有限会社ウイルパワーはリユースショップの運営と中古品・不要品の輸出事業を行っており、当社のビジネスを通じて地域の問題解決を行うこと。その活動原点は、生産（消費）が経済の主流を占めていますが、生産が動脈とすれば、循環する静脈がなければ社会はうまく回らないはず。しかし循環ビジネスの社会的認識は低いままもっと資源循環に関わる循環ビジネスの良さを知ってもらい、生産経済と同等に社会的価値と認知度を上げたい！思いが出发点です。

これまでの活動成果：

- ✓高齢者・障がい者雇用(2014年5月~2022年6月現在)
高齢者雇用:1,627人/日、障がい者雇用 2,449人/日
- ✓海外リユース(2015年4月~2022年6月現在)フィリピン・タイ・カンボジアなど
70コンテナ 702.4トン
- ✓食品ロス回収量(2022年3月~同年7月現在)1,177kg
- ・店舗名称を昨年からリユースマンに変更しました。ファイヤーマン（消防士）のように市民にリスペクトされる存在を目指しています。
- ・SDGs アドバンス支援で行っているPJはサーキュラーベースという、不用品・廃棄物を回収して資源循環させる場づくりを行っています。価値を見つけにくいものは流通しない。物販できないものはリサイクルします。

また、地方行政と連携して、廃棄物優先の3R政策から、リユース・リサイクル優先の状態へ移行するように推進します。

今行っているスケジュールについてガントチャートで予実を管理しています。

d. 高野山真言宗[大師協会] 和歌山教区<三密教会>(生活の継続が保証される町づくり)

(報告：高野山真言宗「大師協会」 和歌山教区<三密教会> 浅田慈照氏)

- ・これまでは、プロジェクトテーマはSDGs理念共有のハウスシェア、持続可能なくお家>活用で、高野山真言宗「大師協会」 和歌山教区<三密教会>は、平成24年に女性僧侶の育成をするための教会として立ち上げたグループで、約3600件の仏教系寺院をコアとして、空き家の早期把握(空き家予備軍)、空き家利活用の普及・啓発の拠点化を当初の目標として、2020年度は、持続可能なく空き家転活用>：理念型シェアハウス<お家

より、おうち>プロジェクトとして

「誰でも・どこでも・いつでも」の3つの「できる」の空き家利活用。空き家を女性限定コンセプト型共同住居に転用活用。

空き家発見は目視が中心。しかし仏教寺院では、葬送儀礼時に空き家予測が可能であり、相続関係者の把握が容易。

①身近な「あの空き家」を早期に把握 ②個人が始められる小規模コンセプト型共同住居事業の実施検証③高野山真言宗寺院を組織化し、空き家利活用の普及啓発拠点化 ④支援者体制の充 を検討してきましたが、COVID-19の影響もあり、
2021年度は、持続可能な<空き空間の活用>：理念型ハウスシェア<お家より、おうち>を推進してきました。

2022年度<三密教会>プロジェクトとして

「生活の継続が保証される町づくり」をテーマに少子高齢化地域の活性と防災と組織作りを中心に検討しています。

SDGsゴールとして、

- ① 高齢者に配慮した地震災害時支援体制構築 (SDG s 3 健康福祉)
 - ② 街区内のユニバーサルデザイン化 (SDG s 9 産業と技術革新の基盤 ・ SDG s 11 まちづくり)
 - ③ 地域交流の橋渡し支援 (SDG s 1 貧困 ・ SDG s 4 教育)
 - ④ 参加型代表的意志決定の確保 (SDG s 16 平和と公正)
- を掲げて、毎月第3土曜日<自治会 班長会>において、防災セミナーを開催(15分から1時間半)、柿の木坂自治会 集会所のユニバーサルデザイン化推進などを推進しています。

e. 株式会社インフォテック・サーブ (代表：橋爪修氏)

(報告：株式会社インフォテック・サーブ 代表取締役 木田氏、志村氏)

テーマは：iCD活用でSDGsを達成 主要なゴール 8: 働きがいも経済成長も

事業内容：情報技術教材・研修サービス・コンサルティングサービスを提供しています。
弊社の情報処理技術者試験向けの教材が英訳されて、アジア共通統一試験の教材として採用され、6か国(ミャンマー・フィリピン・バングラ等)で使われています。

現在実施していることは、

iCDを活用した組織力(業務・人材)の見える化と強化支援(既存事業)

今後実施しようとしていることは、

1. 既存事業をSDGs達成スキームとするソリューションとSDGsの対応を精査し
(既存事業へ直接的かつ具体的にSDGs達成要素を取り込み再構築する)
2. 組織力を基盤にSDGs事業の立上げ(企画・立案)支援を行う
ことです。

今後リーンキャンパスの作成をして、課題認識を行う計画です。

注：iCD とは：IT を利活用するビジネスに求められる業務（タスク）と、それを支える IT 人材の能力や素養（スキル）を体系化したもの

f. ブルジョブズ株式会社 （代表：橋本滋氏）

（報告：PMI 日本支部 SDGs スタートアップ分科会 早川 代読）

テーマは：SDGs × 広報応援プロジェクト

事業内容：WEB 製作、メディア製作、SDG s 事業の 3 本柱としています。

SDG s に取り組む中小企業の広報応援隊を目指しています。

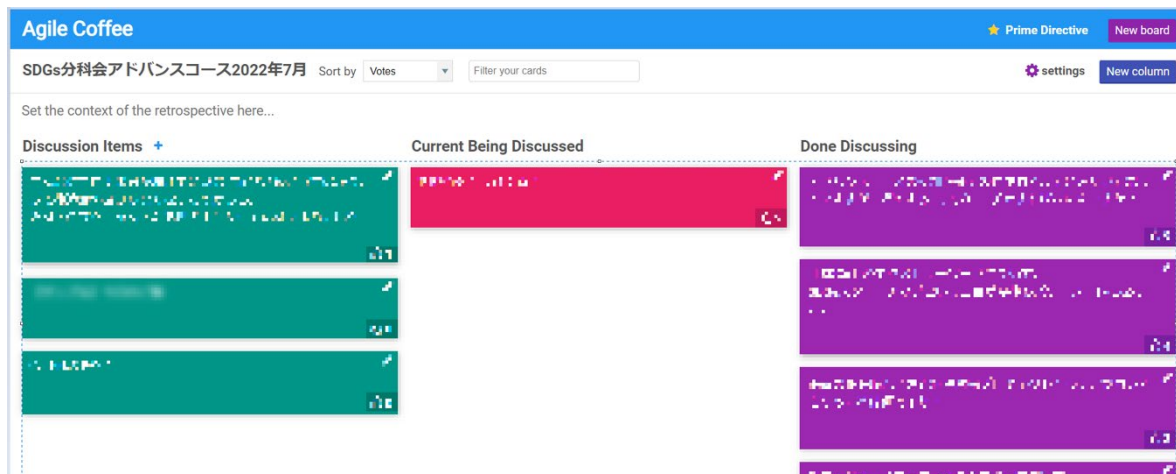
夢は日本中で SDG s ビジネス＝社名に込めたブルジョブズ (持続可能な仕事) を広めたい。

プロジェクトは、BJP と名付けて Miro を用いて進めている。これまでに 1 回 P J 会議を実施しています。 インセプションデッキという手法を用いて確認していききました。

プロジェクトの定義を行っていき、リーンキャンパスを用いて SDG s 事業を考えてみます。

4. フリーディスカッション

その場の参加者でアジェンダを決めるリーンコーヒー形式のフリーディスカッションを行い、参加団体からのテーマを基に示唆に富んだディスカッションをおこないました。 いろいろな話題や意見が出て有益な時間でした。



本件についてご関心、ご要望がありましたら下記にお問合せください。

PMI 日本支部 SDGs 担当(sdgs@pmi-japan.net)